



事故ゼロへ
歩くあなたも責任者

一億の心にもせ無事故の灯

秋の交通安全運動

10月11日～20日

交通安全……このことばを一度も耳にし、目にしない日がないほど、それは私たちみんなの願いであり、叫びでもあります。
しかし、悲しいことに交通事故はいぜん増加の一途をたどっています。
私たちの心のどこかに「自分だけはいじょうぶ」そんな気持がありはしないでしょうか。
事故を起し、事故にあつてからではもう遅いのです。命と引替える、どんな償いがあるでしょう。ひとごとでなく、私たち自身の身を守るために、正しい交通を、あしたから、いえ、今から実行しましょう。

○歩行者は正しい断横を
横断歩道を利用しないひとは
子供より大人に多いようですが
無理な横断が、歩行者が交通事
故にあつた原因のほとんどを占め
ています。

横断歩道を渡る時でも、左
右の安全を確認かめて、車が止ま
るのを確認してから渡るよう心
がけましょう。
のんだら のるな
のるなら のむな
酒を飲むと注意力や判断力が
衰え、反応速度が遅くなるうえ
視力も衰えます。
これは、酒を飲めば車を運転
する能力が半減し、場合によつ
ては全くその能力が無くなって
しまうということです。
酔った運転者の運転する車は
まさに殺人のための狂器です。
運転者のみなさん。どうかあ
なたの車を狂器には変えないで
ください。

問 秋の交通安全運動が始ま
りますが、日光警管内の事故
件数はどうですか。
答 今年にはいつて今日(九
月二十五日)までに二百四件
の交通事故が起きており、昨
年同期より件数にして十五パ
ーセントほど増加し、すでに
四人が死んでいます。
問 事故原因には何が多いの
ですか。
答 やはりスピードの出し過
ぎやむりな追い越しですね。
それに件数は多くありません
が酒酔い運転の事故は、起き
ると大きな事故になります。

問 国道の舗装が完成すると事
故は増えますか。
答 増えると思います。道路が
良くなると車がスピードを増す
でしょう。運転する方にいい
のは、例えば制限時速が六十
キロでも危険があれば四十キロ
に落して走るようにしてもらい
たいのです。事故を起してから
スピード違反でないといつても
しかたがありませんからね

問 歩行者で一番危険なのはど
んなことですか。
答 直前飛び出します。これは
年よりの方に多いですね。
車は急に止まれないんだとい
うことをよく知っていたらだ
い

ゆとりを持って運転を

△日光署 柳次長に聞く▽

問 手をあげたら止まるものだ
とぎめてしまうのは良くないわ
けですね。
答 幼児の事故はどうですか。
答 当市では少ないんです。
これは大人の幼児に対する保護
意識が高いことと、学校などで
の交通安全教育の成果だと思いま
す。
問 運転者にひとこと。
答 車を運転するときは、心に
ゆとりを持って運転するよう心
掛けてほしい。車だからと、時
間ぎのきりに出発したらずれば
どうしてもスピードを出したく
なりそれが事故につながるの
です。

盗られて泣くより
笑って防犯

秋の行楽季防犯運動実施中